

経済教育学会2012年春季研究集会のご案内

2012年3月19日

経済教育学会理事会

経済教育学会のルーツをたどりますと、1981年9月に「経済学教育を考える第1回交流集会」を開いたことに行き着きます。交流集会の発足から勘定しますと、2011年は30年目。恒常的組織としての「経済学教育研究会」の発足から勘定しますと、2014年に設立30周年を迎えます。この間に、日本内外の経済情勢も激変し、学生・生徒たちの実態も、経済教育にたいする社会の要請も変わりつつあります。このような情勢をふまえて、下記の要領で恒例の春季研究集会・拡大理事会を開催します。本学会の存在理由と課題を考えてみるよい機会です。

会場は、京都市周辺に集まる30の大学が共同で設立したキャンパスプラザ（大学コンソーシアム）内の立命館大学サテライト講義室です。JR京都駅から北西方向に3分ほど歩いた交通至便の地にあります。3月28日近辺は、京都の桜が咲き始める時期。桜見物がかねて、どうぞお越してください。なお、事前参加申込は不要です。

とき：2012年3月28日（水）10時～17時30分

ところ：キャンパスプラザ京都（6階）立命館大学サテライト講義室

（京都市下京区西洞院通塩小路下る。JR京都駅の北中央口を出て、JR在来線の北側に沿って、JR伊勢丹デパートと京都中央郵便局に挟まれた道を西に3分ほど歩いたところ、ビッグカメラの北側にあります。）



第1部 10時～12時：共通論題「経済教育の使命と課題、本学会の発展方向を考える」

司会：未定／コメンテーター：水野勝之（明治大学・予定）

- (1)学会の論究の到達点と課題—日本社会と若者の変化を見据えつつ／藤岡惇（立命館大学）
- (2)高校教育と大学教育の「接続」を考える—若者のキャリア教育・経済リテラシー教育の観点から／宇佐見義尚（亜細亜大学）

第2部 13時～15時15分：自由論題報告（30分報告・15分討論）

司会：山根栄次（三重大学）

- (1)教育プロジェクト「大震災から何を学びとるか」の実践報告／新里泰孝・小柳津英知・大坂洋・根岸秀行・橋本勝（富山大学）・竹田達夫（高岡法科大学）・横田数弘（富山高等専門学校）
- (2)高校で経済を教える教員の属性と特質／山岡道男（早稲田大学）・浅野忠克（山村学園短大）・阿部信太郎（城西国際大学）
- (3)商業高校における経済・経営教育—商業科「国際ビジネス」と公民科目との関係／金子浩一（宮城大学）

（休憩 15時15～30分）

第3部 15時30分～17時30分 拡大理事会（会員の参加・傍聴を歓迎します）

※終了後に大学コンソーシアムの案内と「懇親夕食会」（企画中）